

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [12271] インターロイキン-6 (IL-6)《ECLIA》

### 受託開始日

- 2021年2月15日(月)



# インターロイキン-6 (IL-6)《ECLIA》

インターロイキン-6 (Interleukin-6 : IL-6) は数多くあるサイトカインの中で、数十種類発見されているインターロイキンの一つとして知られています。

外傷や感染などの侵襲が生体に加わるとサイトカインが産生され、特に侵襲が大きい場合はサイトカインの過剰産生 (サイトカインストーム) を生じ、多臓器障害に至る場合があります。

IL-6は炎症早期に産生されるサイトカインであり、血中のIL-6値を測定することにより、臓器障害の発生を予測することが可能です。実際、全身性炎症反応症候群 (SIRS) の患者ではIL-6濃度上昇に応じて、翌日の障害臓器数が有意に増加するとされています。また、IL-6値のカットオフ値を100 pg/mL (重症度判定の参考カットオフ値) とした場合、翌日の多臓器障害の予測性能は、感度 79%、特異度 70%とされ、SIRS患者の重症度判定に有用な検査となります。

さらに最近では、新型コロナウイルス感染症を重篤化させる大きな要因の一つとしてIL-6の過剰産生が報告されており、新型コロナウイルス感染症における重症化マーカーとしても注目されています。

## 検査要項

項目コード	12271
検査項目名	インターロイキン-6 (IL-6)《ECLIA》
検体量/保存方法	血清 0.5mL <sup>*1</sup> / 凍結 [容器番号：01番→02番]
検査方法	ECLIA
基準値	7.0 pg/mL 以下 (重症度判定の参考カットオフ値：100 pg/mL)
所要日数	2~3日
検査実施料	170点 <sup>*2</sup> ([D008] 内分泌学的検査「31」インターロイキン-6 (IL-6))
判断料	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)
報告下限	1.5 pg/mL 未満
報告上限	50,000 pg/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁
備考	*1：高用量のビオチンを投与・摂取している場合、偽低値になる可能性がありますので、投与後は8時間以上空けて採血してください。 *2：全身性炎症反応症候群の患者 (疑われる患者を含む。) の重症度判定の補助を目的として測定した場合は、本区分の「31」副甲状腺ホルモン (PTH) の所定点数を準用して、一連の治療につき2回に限り算定できます。なお、本検査を実施した年月日を診療報酬明細書に記載してください。また、医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載することが必要です。

## 参考文献

エクルーシス試薬 IL-6 試薬添付文書  
Shimazui T, et al., Shock, 2020. [PMID:33060456]